

Stereoscopic Player Zalman Edition

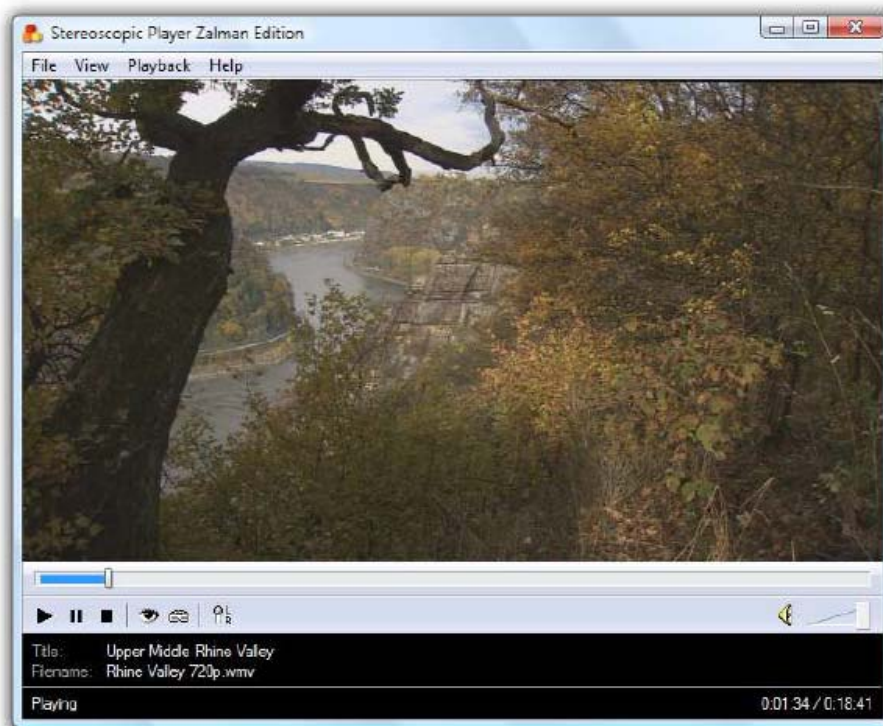
クイックスタートガイド

Version 1.2
October 14th,2007

はじめに

Stereoscopic Player Zalman Edition は Zalman ディスプレイで立体ムービーを再生できる 3D ムービープレイヤーです。一般的なムービープレイヤーと同じように簡単に操作できます。クイックスタートガイドでは、Stereoscopic Player、及び 2D と 3D の再生の違いについて説明します。

立体映像は 2D の映像と同じメディアフォーマットを使います。Stereoscopic Player は DirectShow アーキテクチャで作成されているので、AVI、MPEG-1、WMV 及び ASF の一般的なメディアフォーマットを扱うことができます。サードパーティの DirectShow 互換のデコーダをインストールすることで対応するフォーマットを追加することもできます。



画像 1 : Stereoscopic Player メイン画面

立体映像ファイルは似た2つの視点の映像が含まれているという点で2D映像ファイルとは異なります。左右の映像はレイアウトと呼ばれるいくつかの違う方法で配置されます。図のように一般に3種類のレイアウト方法があります。Stereoscopic Playerは左右別々のファイルだけでなく、すべての重要なレイアウトをサポートしています。

Stereoscopic Player Zalman EditionはStereoscopic Playerの限定版で、Zalman社により供給、サポートされます。Zalman3Dディスプレイでのみ使用可能です。Stereoscopic PlayerのフルバージョンとZalman Editionとは同じシステムにインストールされても問題ありません。



図2：Side-by-side レイアウト



図3：Over/under レイアウト



図4：インターレース レイアウト

システム条件

Windows Vista、Windows XP、Windows 2000 又は Windows Server 2003

DirectX 7 以上に対応したグラフィックカード

DirectX9 インストールされていること

サウンドカード

Zalman 3D ディスプレイ

必要な CPU 性能はコーデックとビデオ解像度に依存します。立体映像の再生は、同じファイルを 2D のビデオプレイヤーで再生する場合に比べて 20%以上の性能が望めます。高い解像度のファイルの場合は、一般的に少なくとも Dual コアの CPU が望めます。

インストール

Stereoscopic Player は簡単にインストールできます。ダブルクリックで Setup ファイルを実行します。セットアップウィザードの指示に従い必要事項を指定してインストールします。

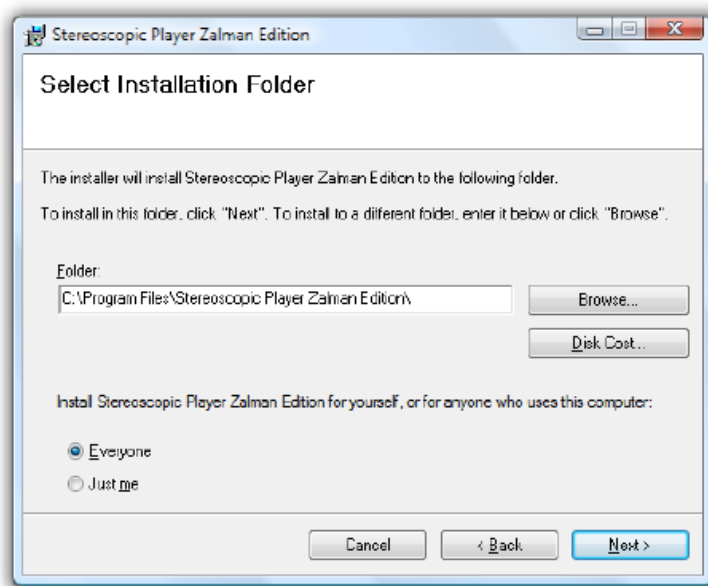


図 5 : Stereoscopic Player セットアップウィザード

プレイヤーを使うには

プレイヤーを使用するにはスタートメニューの中の **Stereoscopic Player Zalman Edition** を実行します。**Stereoscopic Player Zalman Edition** は **Zalman3D** ディスプレイが接続されていなければ動作しません。接続されていなければ、以下のメッセージが表示され終了します。

ディスプレイが正しく認識されるためには、高品質のモニターケーブルの使用、及びグラフィックカードとモニタの間に他の機器が何も接続されていないことが必要です。ディスプレイに付属のケーブルを使用することを推奨します。



図 6 : Zalman ディスプレイが見つからない場合

ファイルの再生

[ファイル]-[ファイルを開く]メニューをクリックして **3D** ビデオファイルを選択します。もし立体レイアウトの情報がビデオファイルに含まれているか、左右の立体ファイルが用意されていれば、すぐに映像がオープンされます。そうでなければ、立体のフォーマットを選択する画面が表示されます。

サイドバイサイドで左画像が最初のレイアウトは平行法フォーマット、右画像が最初のレイアウトは交差法フォーマットです。インターレースレイアウトはフィールドシーケンシャルフォーマットと同意です。

もし、レイアウトが不明の場合は、左右どちらかのファイルを **2D** のビデオプレイヤーで開いてサイドバイサイドかトップ&ボトムかインターレースか確認します。

立体でない映像は読み込むことができますが、**2D** から **3D** に変換はされません。

アスペクト比はファイルのアスペクト比メニューで常に変更できます。

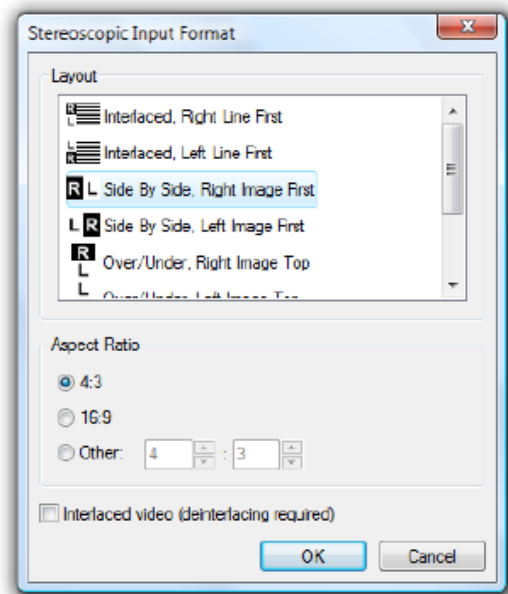


図 7 : Stereoscopic input format ダイアログ

左右のファイルの再生

左右の映像は、前述の1つのビデオファイルの形だけでなく、別々のファイルであっても可能です。[ファイル]-[Open Left and Right File]メニューで左右のビデオファイルを開けます。サウンドは左右いずれかのファイルを指定します。オプションで、無音か別のオーディオファイルを使用することができます。

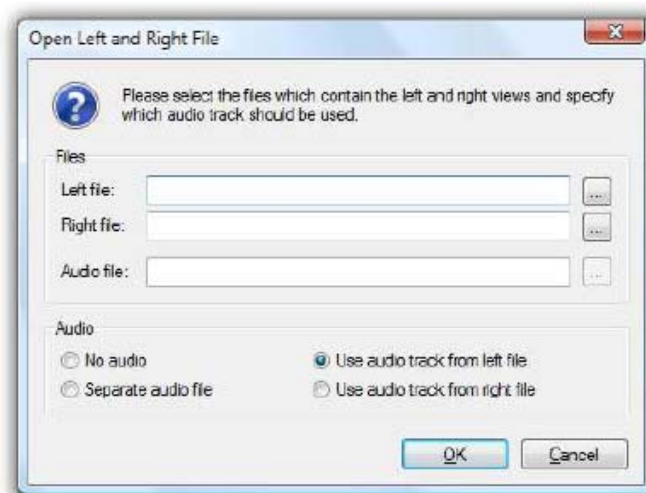


図 8 : 左右のビデオファイルを開く

主な機能

再生コントロール： スタート、ストップ、ポーズメニューまたはツールバーボタンのコマンドを使います。 ツールバーボタンの上にマウスを動かすと、ボタンの機能についてのヒントが表示されます。

フルスクリーンモード： 3D 映画を楽しむための理想的な方法は、フルスクリーンモードです。 [表示]-[Full Screen]メニューをクリックするか、ビデオ上でダブルクリックするとフルスクリーンで表示されます。 もとに戻るには、再びビデオ上でダブルクリックするか、ESC キーを押してください。 2つ以上ディスプレイを接続している場合は、Zalman3D ディスプレイと一致しているモニタは、[表示]-[Full Screen]メニューで選択する必要があります。

2D と 3D の切り替え： [表示]-[表示方法]メニューは 2D と 3D の再生を切り換えることができます。 左の映像だけを見るには[片側映像]を選択します。 2D の映像を見るには 3D メガネは不要です。Stereoscopic Player は他の 2D のプレイヤーと同じように 2D の映像を表示されます。 [ステレオ映像]メニューは 3D モードに切り換えます。 2D と 3D の切り替えスイッチはツールバーのボタンもあります。

左右の映像の切り替え： [表示]-[Swap Left/Right]メニューは左右の映像を切り替えます。 ツールバーのボタンにもアイコンがあります。 フルスクリーンモードの場合は、F7 キーを押すことで切り換えられます。

ステレオの拡張設定： [ファイル]-[視差調整]メニューは、水平と垂直の視差が調整できます。 水平の視差を増加させると 3D シーンがさらにスクリーンの内側に寄ります。 視差を減少させるとそれはスクリーンの外側に広がります。 垂直の視差の調整はビデオ映像の作者が慎重に位置合わせされなかった場合を除いてほとんどのビデオでは必要ではありません。 視差設定は、視差調整メニュー以外に[ファイル]-[ビデオプロパティ]メニューでも変更できます (図 9)。 このダイアログでは、トリミング等の拡張設定もできます。「フィルタ」ページは、使用のすべての DirectShow フィルタをリストします。 もしいくつかのデコーダが一定のフォーマットのためにインストールされていれば、フィルタリストは、実際使用されているデコーダを見つけ出すこと可能です。 さらに、再生の問題を起こすフィルタを認識することにも役立ちます。

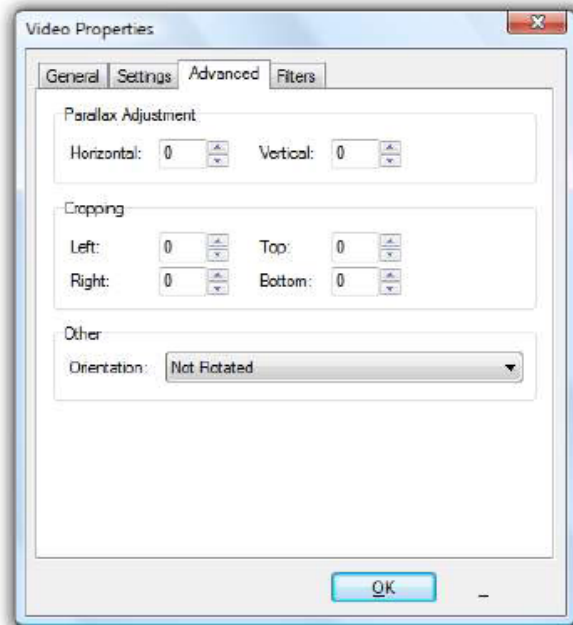


図 9 : ビデオプロパティダイアログ

トラブルシューティング

ビデオファイルが開けません : 考えられる理由は不明なビデオまたはオーディオコーデックです。問題を解決するために、不明なコーデックをインストールしてください。DivX または Xvid のような多くの有名なコーデックは、別途インストールする必要があります。